

**長野県のソーシャルワーカーによる
フューチャー・デザイン・ワークショップ展開①**

長野県におけるソーシャルワーク & フューチャー・デザイン研究

Social work × Future design

【長野県社会福祉協議会 × 信州大学】

長野県社会福祉協議会と信州大学経法学部との間で、以下の事項について連携、協力することを約した協定書を締結（令和5年2月9日）

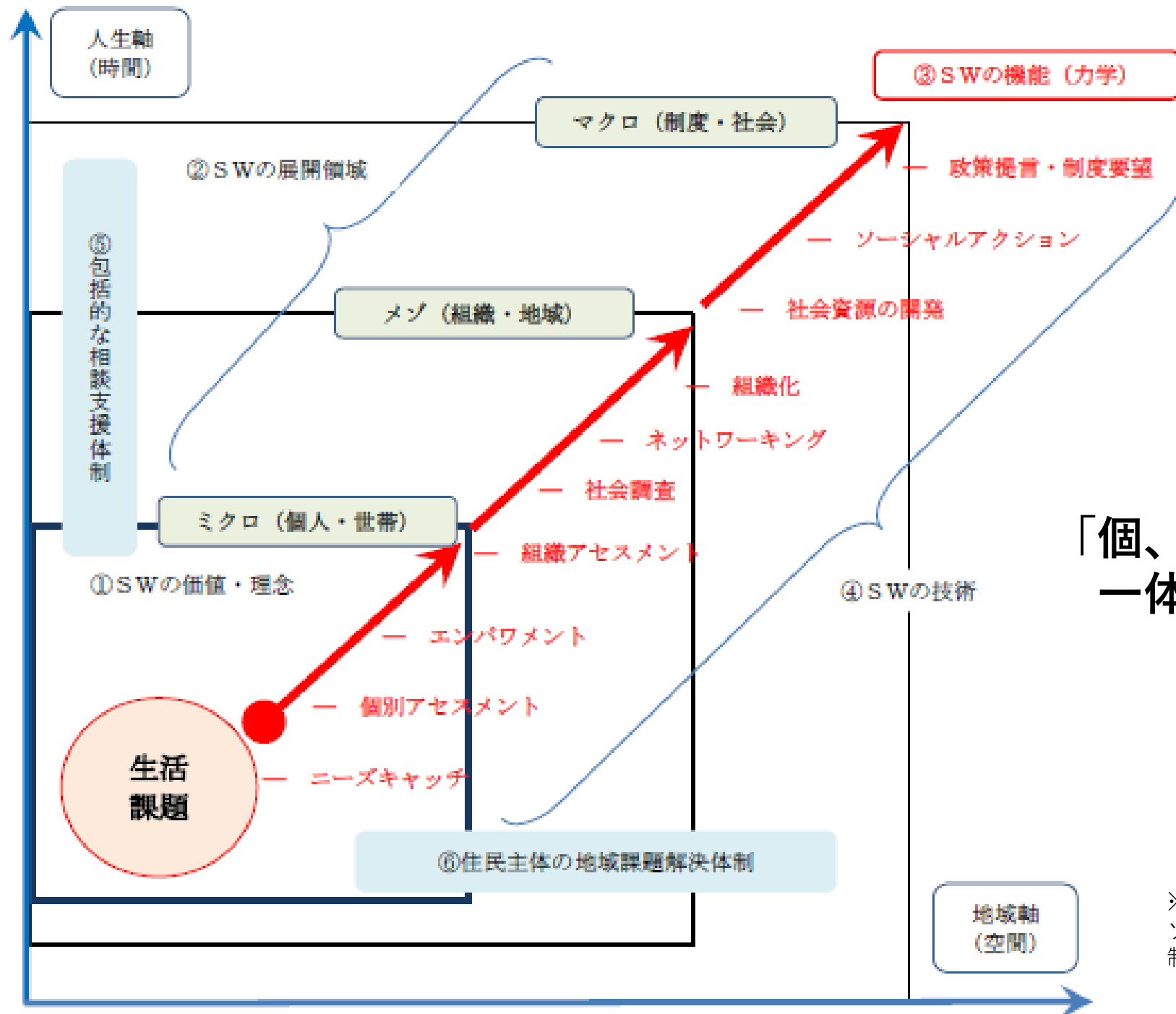
- 1 **フューチャー・デザインとソーシャルワークの融合に関する研究**
- 2 **地域福祉活動へのフューチャー・デザインの実装**



【ソーシャルワーク & フューチャー・デザイン研究会】



What is Social work ?



※長野県社会協議会作成「地域を基盤としたソーシャルワーク機能強化に向けた総合相談体制整備事業報告書」(2019年3月)より

Social work × Future design

workshop

2022

50年先の暮らしから今を俯瞰

【1日目】

◆情報提供

◆現代世代ワーク

「ソーシャルワーカーが直面している課題について」

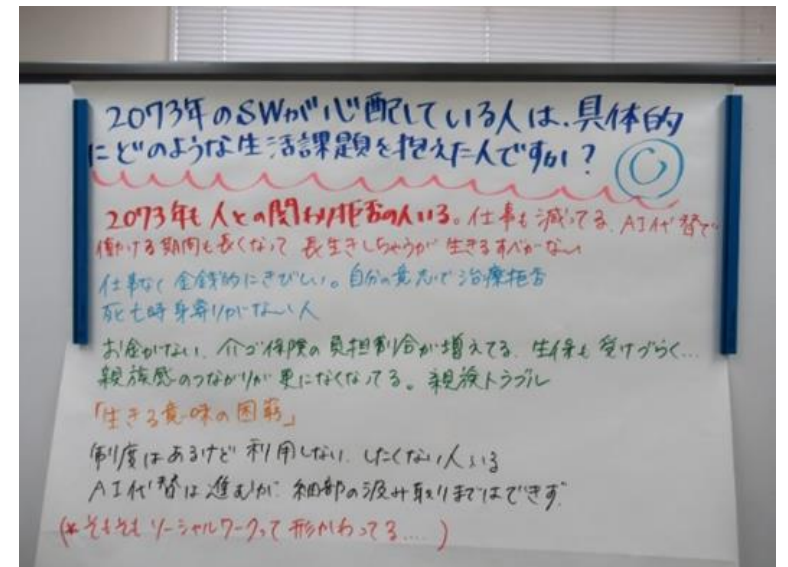
【2日目】

◆過去ワーク（パスト・デザイン）

「先輩ソーシャルワーカーに伝えたい感謝の言葉」

◆将来世代ワーク（フューチャー・デザイン）

「2023年のソーシャルワーカーは何をしなければならないか？」



Social work × Future design

workshop

2023

【目的】

近視眼的になりがちなソーシャルワークの実践から脱却し、新たな視野を獲得すること。

【目標】

利用者や相談者、地域住民に対して日々働きかけを行っているワーカー自身が、この時代に暮らす地域住民としてワークを重ね、**将来世代からの視点を獲得したうえで未来から現在を俯瞰できるようになること**を目指します。

150年先の暮らしから今を俯瞰

【1日目】

◆現代世代ワーク

「今暮らしている地域で気になっていること」

「今暮らしている地域の将来像」

◆情報提供・共有

「私たちが直面している社会の状況について」



【2日目】

◆過去ワーク（パスト・デザイン）

「古くから伝わってきた地域のこと」

◆将来世代ワーク（フューチャー・デザイン）

「2023年の祖先にメッセージ」



2173年から150年前の祖先にひとことメッセージ

【残しておいてほしいもの】

- 人と人とのつながり
- 地域の歴史や物語
- 自然、四季、文化、風習、行事、役割

【創り出しておいてほしいもの】

- 移動手段
- 年代関係なく働ける仕組
- 環境にやさしい生活様式
- 手間を楽しめる環境
- 人間性を高める教育

【手放しておいてほしいもの】

- 便利な生活（使い捨て生活）
- 経済発展（裕福な暮らし優先）
- おまかせ感情

ワーク2-5
「2173年の祖先に、ひとことメッセージをください。」

残しておいてほしいもの

- おいしい食べ物 レシピ 動画
- 山菜 塩蔵 自治
- 昔ながらの暮らし
- 単なる体験をした
- 地元の池(3000坪) 雷 雪 山 池
- 料理を文化・生活
- 変えたい技術・文化
- おもしろいもの
- 御茶屋 レシピ 生家 11/20 写真 ネット
- 安心 安全
- おもしろいものは何かを考えた。

作り出してほしいもの

- 自分の業みや幸せを取り戻す
- 地球環境を守る文化知識
- 身体の変化や不自由の解消後の
- 障がいへの理解
- 環境やおいしい食物の伝統
- 個人や学校を教育
- 身体のカン
- 人が定住出来る仕組み
- 特定の人が不足しないシステム
- ものごじを継承する仕組み
- 格差(地域の)
- 連年天災 リスク
- 共生型の居場所
- 「人育」をモットーに親は子供が
- 子供が 体育 → 体育 → 体育

手放してほしいもの

- 人の暮らしを妨害して自分のものを残すこと
- 持続可能なでない考え
- 健康を人々に押し付ける
- 不安な未来
- 匿名製菓会社の多岐にわたる販売
- 義務感の多い行事
- その地域での課題解決
- 過去のうさぎ
- 土地、契約、衣類 雑貨
- おもしろいコト
- おもしろい目的のものは何か
- 変化を恐れたい、おもしろいこと
- 体験を大切に
- 楽しみたい

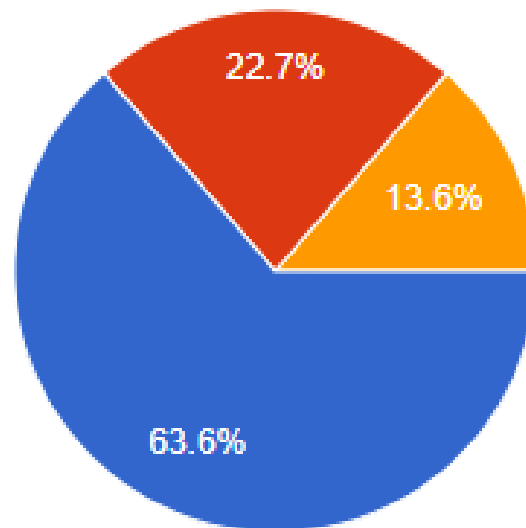
その他

- ガンバレ!
- 生物リスク (毎年の予算編成は1億5000万円)
- リスクレポート
- 手紙 想い、エール 応援
- 祖先への祈り つけたい
- 多岐に意見や寄せたい事

12月18日「ソーシャルワーク×フューチャー・デザイン・ワークショップ2023」(2日目)

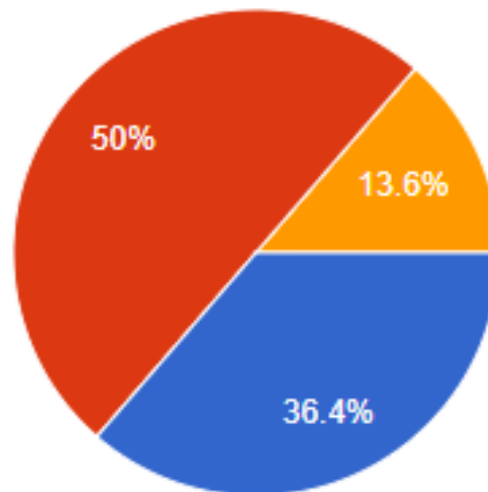
参加者アンケート結果

問 2023年12月のワークショップを経験した後で、あなたのふだんの生活や業務の中で、将来世代や未来のことを意識する機会がありましたか。



- ①あった
- ②どちらかといえばあった
- ③どちらかといえばなかった
- ④なかった

問 2023年12月のワークショップの目的は「近視眼的になりがちなソーシャルワークの実践から脱却し、新たな視野を獲得すること」でした。ワークショップから半年を経て、あなたのソーシャルワークに変化はありましたか。



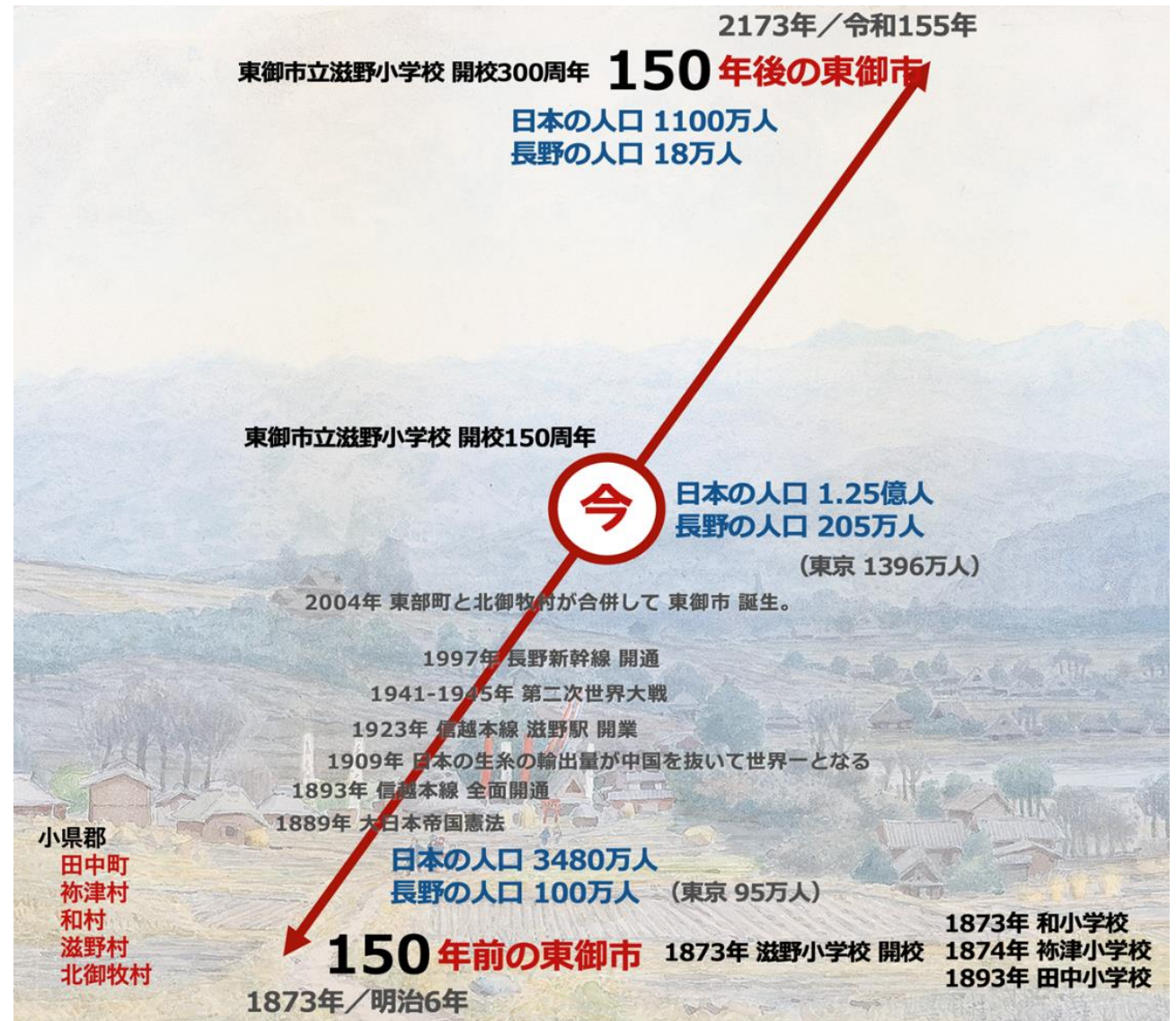
- ①変化があった
- ②どちらかといえば変化があった
- ③どちらかといえば変化がなかった
- ④変化がなかった

※本アンケートは、ワークショップ開催から6か月後の2024年6月に実施しました。

※WS参加者22人に対しメールにて協力を依頼し、全員からGoogleフォームへの入力により有効回答を得ました。

長野県・東御市における フューチャー・デザイン ワークショップの展開

Challenge in Tomi City



↑ 東御市出身の水彩画家「丸山晚霞」が約100年前の東御市祢津地域を描いた水彩画

長野県は
77市町村
(19市、23町、35村)



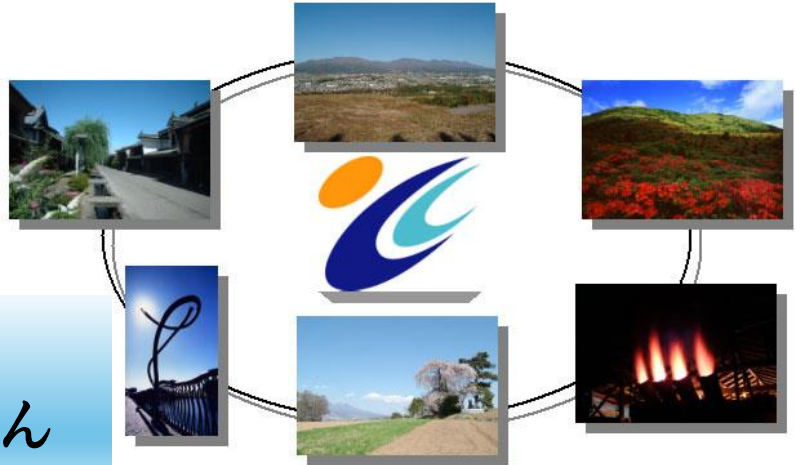
とうみし 東御市 (東御市公式HPより)

- 小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併
- 平成16年4月1日に誕生
- 人口：29,065人 世帯数12,545世帯 (令和6年8月)
- 基幹産業：農業・製造業・運送業
- 農業：ぶどう (巨峰・その他)、くるみ、じゃがいも、とうもろこし
- 県内初のワイン特区 (大小合わせて12のワイナリー)
- 「ほどよく田舎」…移住者促進キャッチフレーズ
- 古くから馬の産地・平安時代の信濃御牧 (官牧) 十六牧
- 「日本の道百選」に選ばれた北国街道海野宿は江戸時代の面影を残し、現在では観光の要所
- 上信越高原国立公園の「湯の丸高原」は、レンゲツツジの大群落、コマクサ、アヤメ、マツムシソウなど、多種類に及ぶ高山植物の宝庫
- 水彩画家「丸山晚霞」の生地・「丸山晚霞記念館」
- 湯の丸スキー場
- 雷電為衛門 (江戸時代の力士) の出身地



上田市と小諸市の間にある
中山間地です
高速道路：「東部湯の丸IC」

風光明媚な
景色がたくさん



長野県・東御市の取組の経緯

- 2022年 社協・市関連部署で庁内連携・地域づくりについて話し合い開始
- 2023年 3月 「持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会」
* 現代世代ワークショップ
- 2024年 2月 「地域福祉懇談会」
* フューチャー・デザインワークショップ
(仮想将来世代ワークショップ)

身の回りで『困っていること（課題）』『気になること』

※2023年3月開催「持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会」現代世代ワークショップで出た意見より

空き家・耕作放棄地

担い手不足・負担増加

少子化、子育て、若者
人口減少

高齢化・単身世帯増

健康・高齢期の生活

人付き合いの希薄化

引きこもり・不登校

AI・デジタル化の不安

障がい者のサポート体制



地域住民と共に未来のために考え
持続可能な東御を創りたい

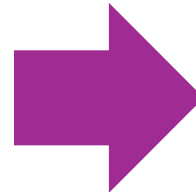
2024年「地域福祉懇談会」においてフューチャー・デザイン・ワークショップ
(FDWS) を実施

「地域福祉懇談会」 × Future design workshop

東御市社会福祉協議会の「地域福祉懇談会」

- ◆20年以上「小学校区ごと」伝統的に毎年開催。
- ◆参集者：
自治会長（＝社会福祉協議会の支部長）、福祉運営委員長、福祉運営委員
民生児童委員、高齢者クラブ、ボランティア団体など
- ◆参集方法：「役員」が出来る限り参加するよう「案内」

従来（2023年まで）
任意で自治会ごとの福祉活動の
計画を話し合う

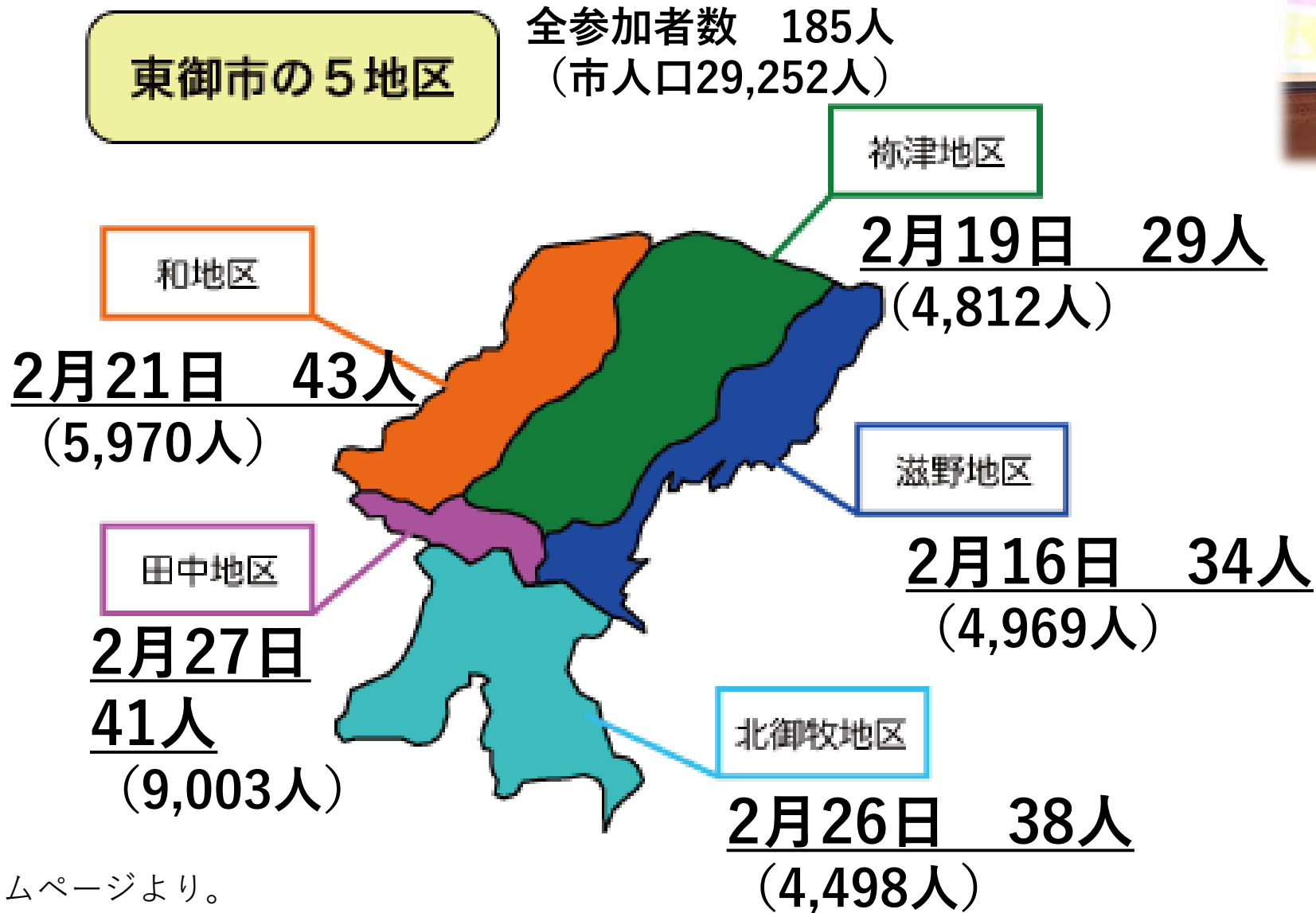


FDWS（2024年）
参集者全員で、未来の東御市の地域
づくりについて考える

地域福祉懇談会でFDを行う目的

- ①参加者全員で、これからも**無理なく地域が続いていく**地域福祉の取り組み方や地域づくりを考える。
- ②**東御市地域福祉計画・東御市地域福祉活動計画**の基礎資料の一つとして活用する。

FDWSをすべての小学校区で開催



※図は東御市ホームページより。
※括弧内は開催月の2023年2月の外国人を含む各地区の人口

地域福祉懇談会×FDWSで出た意見

● 滋野地区 未来にも残したいもの

- 【災害】 災害に備え、対応できる地域
- 【コミュニティ】 血縁家族から地縁家族になる
- 【住居】 みんなで暮らす場所

● 柘津地区 未来にも残したいもの

- 【自然環境】 柘津の山と水源の美味しい水
- 【食と農業】 ワイン畑、野菜やコメを作る生活
- 【コミュニティ】 隣近所の集合場所、自治会組織

● 和地区 先送りにしたくないもの

- 【政治】 政治をよくする勉強会
- 【社会福祉】 人同士のつながり強化、皆が協力するように学習
- 【生活の質・意識】 ものに固執しない



● 北御牧地区 今から新たに組みたいもの

- 【教育と文化】 食の文化を引き継ぐ
学校以外の個人を伸ばす教育
- 【地域経済と雇用】 若者が就きやすい仕事
- 【地域活性化】 地産地消の循環システムづくり

● 田中地区 未来にも残したいもの

- 【地域社会と文化】 昔ながらの天神講、
海野宿の街並み、ふれあい祭り
加沢地区の歴史
- 【心と精神】 思いやりの心、誰にでも優しい心
- 【人間関係とコミュニティ】 全世代仲良く、人どうしのつながり
老人会（白鳥会）を残したい

現代世代WS とFDWSの比較

現代世代WS

* 持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会
2023年3月開催

①一定の共通した課題が明らかになる



②課題に対する策や提案がでない



③本質的に重要となる事柄が話し合われにくい



④「将来」に向けた課題は、「今見えている課題」から推測される内容にとどまる



FDWS（将来世代WS）

* 地域福祉懇談会
2024年2月開催

①一定の共通した課題が明らかになる

②「将来どうなってほしいか」が具体的に話し合われる

③本質的に重要な事柄が数多く出される

④仮想将来世代になるので「将来の変化を踏まえて」考えが来ている

地域福祉計画・地域福祉活動計画への反映

①

東御市民185人が150年先の未来の東御人になって考えたこと



計画の理念・テーマに反映「150年先に残したい福祉のまち東御」

②

手放したいもの



地域福祉計画の「現状の課題」に反映

③

未来にも残したいもの、新しく取り組みたいもの



地域福祉計画・地域福祉活動計画の「具体的実践内容」に反映

FDWS研究会で継続して考えたいこと

今後の展開や期待

- ・ 子どもや若者を含めた新たな参加者や参集方法
- ・ 本質的な気づき（大切にしたい価値）
- ・ 身に詰まる思いになり、参加者の実践行動につながりやすい
- ・ 様々な集まりで実施 → 地域住民の気づきと行動の変容

課題

- ・ ワークショップの方法（未来人になりきる）
- ・ ワークショップの意義や意味の伝え方
- ・ 話し合われた内容の結果や成果